D536

＊MAM38G＊

# LIXIL 折板カーポート 波板スクリーン 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

| 安全に関する記号 | 記号の意味 |
|---|---|
| ⚠警告 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。 |
| ⚠注意 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。 |

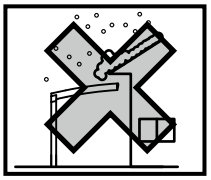
| 一般情報に関する記号 | |
|---|---|
| お願い | ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。<br>●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。 |
| ※ | ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。<br>●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。 |
| 補足 | ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。 |

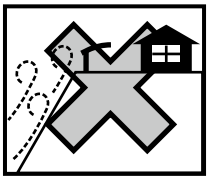
**※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。**

## ＜施工の前に＞

**⚠注意**

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
●設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
●崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。





●給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●部材の固定
・必ず指定の組立ネジを使用してください。また施工後、ネジにゆるみがないか点検してください。

## ＜取付上のお願い＞

**お願い**

●本製品施工の際は折板カーポート各種取付け説明書を併せてご使用ください。
●取付けは専門業者が行なってください。専門知識のない方が取付けされますと不具合発生の原因となることがあります。
●波板は現場にて市販品を手配してください。（山高9mm、32波）
●波板（ポリカーボネート）には裏表があります。太陽のあたる側を「表」にしてください。
●波板の重ねしろは3山にしてください。
●本体の梁サイズによって取付け位置が異なります。本文をよく読んで取付けてください。
●設置条件
・L字囲い、３面囲いは１台用・２台用・奥行延長・縦2連棟に取付可能です。
・幅方向は、水上側のみ取付け可能です。
・3面囲いタイプは水上側の幅方向に補助柱・補助梁を追加します。
・3面囲いタイプの補助柱・梁の取付けは、補助柱・補助梁の取付け説明書を参照してください。
●施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。



D536_202608G
MAM-038G_202608

## < 基礎工事について>

**注 意**

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石等を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
●コンクリート強度は18N/mm$^2$以上で施工してください。

**お願い**

●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
●確認申請による設置の場合は、設置場所･現地地耐力度･設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

## < 施工上のご注意>

**注 意**

●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
●水漏れの原因になりますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等の原因になりますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
●ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い 、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
※Φ4ネジ：2.5N･m±0.5N･m (25±5kgf･cm)
※Φ5ネジ：3.0N･m±0.5N･m (30±5kgf･cm)
※M6ボルト：12.0N･m±0.5N･m (120±5kgf･cm)
※M8ボルト：20.0N･m±0.5N･m (200±5kgf･cm)
※M10ボルト：40.0N･m±0.5N･m (400±5kgf･cm)

| シーリング材メーカー | 品名および品番 |
|---|---|
| 信越化学工業（株） | シーラント72 |
| モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合） | トスシール380 |
| ダウ・東レ（株） | SE960 |

**お願い**

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

## < 施工の後に>

**注 意**

●ボルト、ネジを増し締めしてください。

**お願い**

●取扱説明書は施主様にお渡しください。

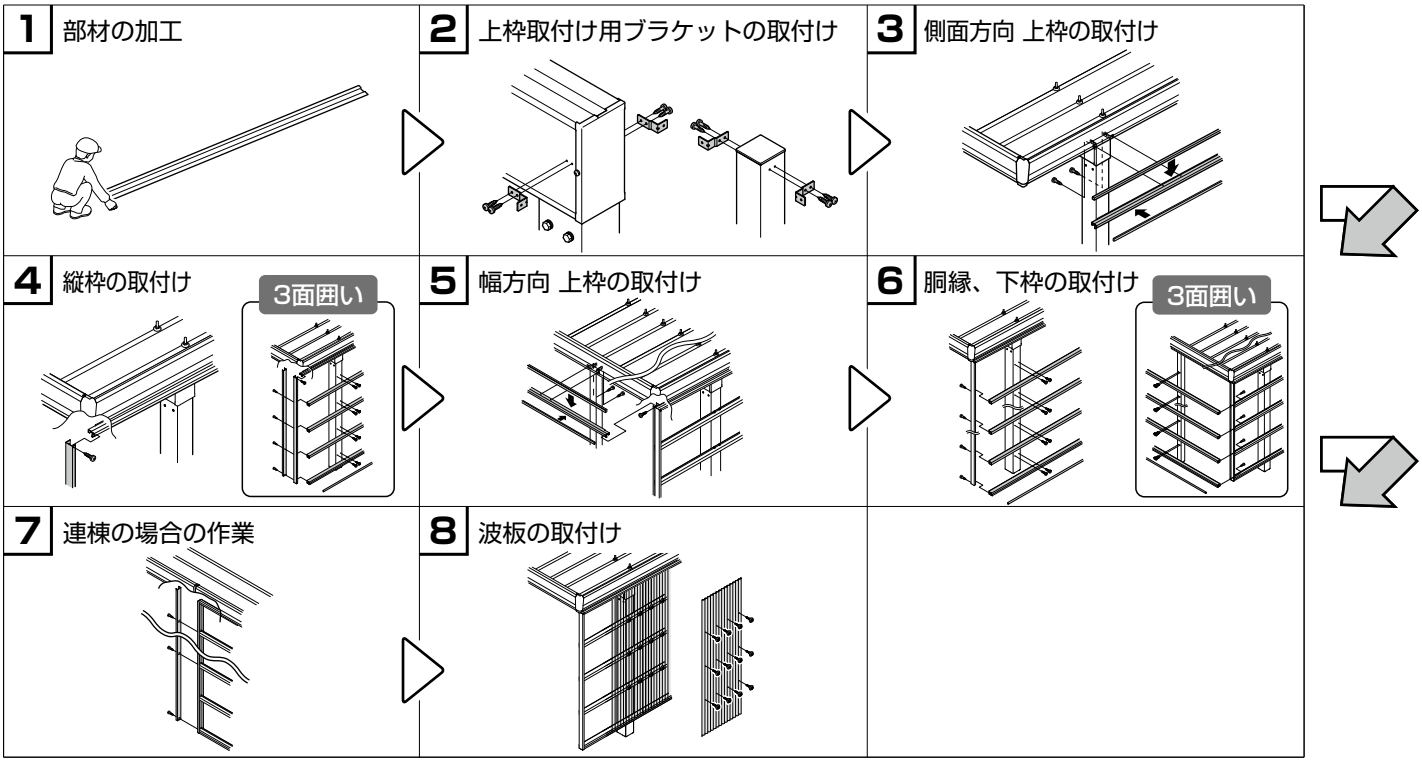
# INDEX


梱包明細表…… 4
1　各部の名称…… 5
2　基本寸法…… 6
　1.　姿図…… 6
　2.　納まり図…… 10
3　部材の加工…… 13
　1.　下枠の加工…… 13
　2.　横部材（下枠・胴縁）の加工…… 13
　3.　横部材（上枠）の加工…… 14
　4.　縦枠の加工…… 15
4　上枠取付け用ブラケットの取付け…… 16
　1.　ブラケットの取付け準備…… 16
　2.　ブラケットの取付け…… 17
5　側面方向 上枠の取付け…… 18
6　縦枠の取付け…… 19
　1.　側面取付けタイプの場合…… 19
　2.　3面囲いタイプの場合…… 19
7　幅方向 上枠の取付け…… 20
8　胴縁、下枠の取付け…… 21
9　連棟の場合の作業…… 22
10　波板の取付け…… 23


## 表示マーク

シーリング箇所

## 施工の流れ







D536_202501F
MAM-038F_202501

## 施工チェックポイント

**重 要**

●組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
●正しい取付けをしなかった場合、使用者がケガを負うおそれがあります。

チェック ①施工完了後、ネジ･ボルトの締め忘れが無いか確認
●柱･梁のボルトと、前枠･後枠と梁を取付けているネジに緩みがないか確認してください。

# ■梱包明細表

【1】上下枠セット

| 名　称 | 略　図 | 員　数 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 幅30用 | 幅36用 | 幅48用 | 長さ･幅55用 | 長さ･幅60用 | 長さ12用 |
| 上枠 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 下枠 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 取付説明書〈D536/MAM-38C〉 | – | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

【2】胴縁セット

| 名　称 | 略　図 | 員　数 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 幅30用 | | 幅36用 | | 幅48用 | | 長さ･幅55用 | | 長さ･幅60用 | | 長さ12用 | |
| | | 2本入 | 3本入 | 2本入 | 3本入 | 2本入 | 3本入 | 2本入 | 3本入 | 2本入 | 3本入 | 2本入 | 3本入 |
| 胴縁 | | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 |
| 波板止めネジ | | 40 | 60 | 40 | 70 | 60 | 88 | 64 | 96 | 70 | 105 | 12 | 18 |

【3】縦枠セット

| 名　称 | 略　図 | 員　数 |
|---|---|---|
| 縦枠 | | 2 |

【4】組立部品セット

| 名　称 | 略　図 | 員　数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 4本柱用 | 6本柱用 | 8本柱用 | 12延長用 |
| 上枠取付け用ブラケット | | 4 | 6 | 8 | 2 |
| ブラケットスペーサー | | 8 | 12 | — | — |
| 隙間隠し材10×15 | | 2 | 2 | 2 | 1 |
| 隙間隠し材8×15 | | 1 | 2 | — | — |
| 波板押えパッキン (1450)5×10 | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 波板押えパッキン (2360)5×10 | | 4 | 4 | 4 | — |
| 【4-1】φ4×19ナベドリルネジ | | 73 | 97 | 122 | 49 |

# 1. 各部の名称

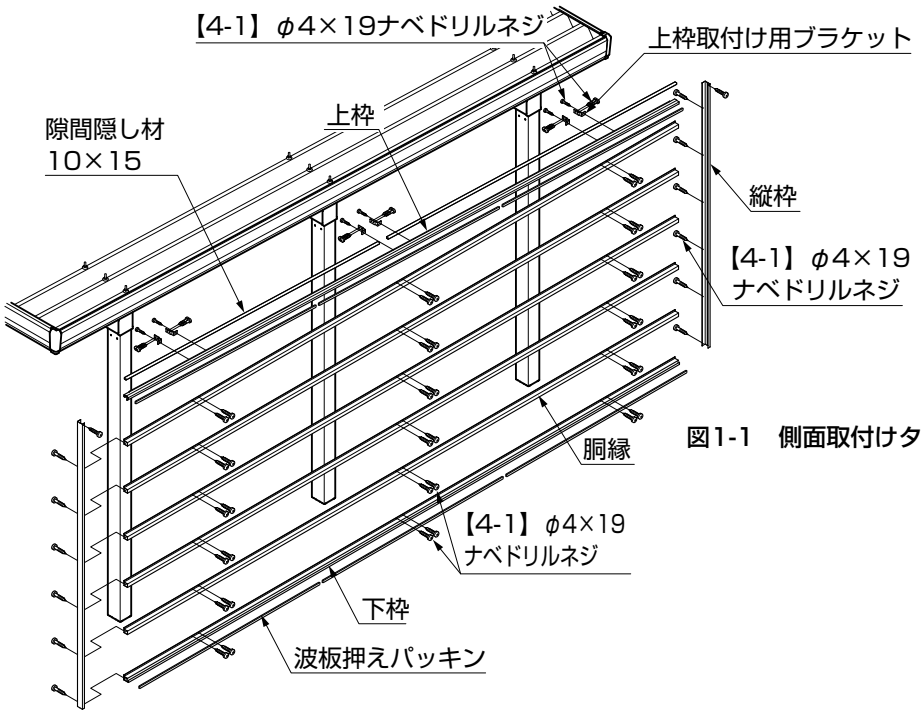



図1-1　側面取付けタイプ

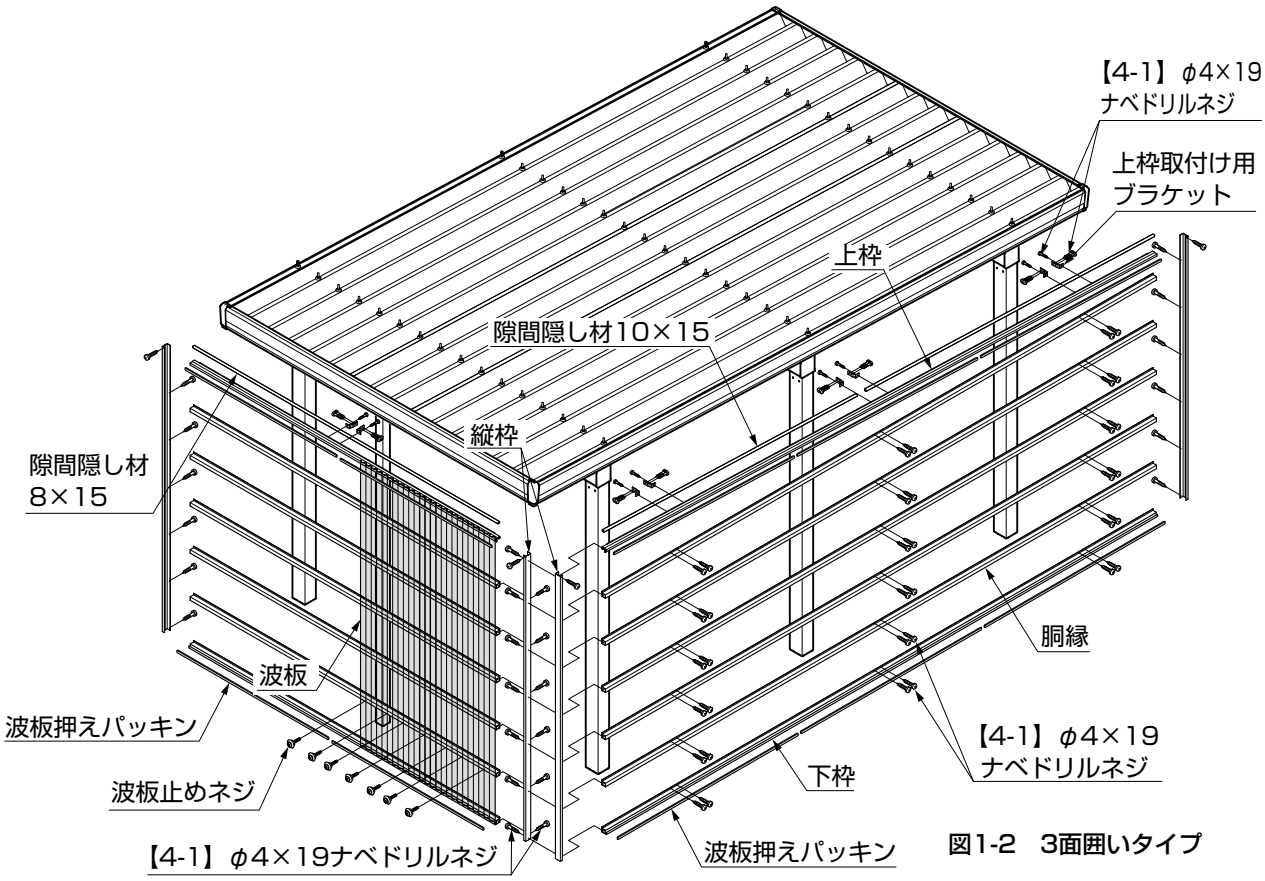



図1-2　3面囲いタイプ

# 2. 基本寸法

## 2-1 姿図

※< >はL60寸法を示します。
※（ ）は柱H25、((　)) は柱H30寸法を示します。

### （1）側面取付けタイプ　後面図

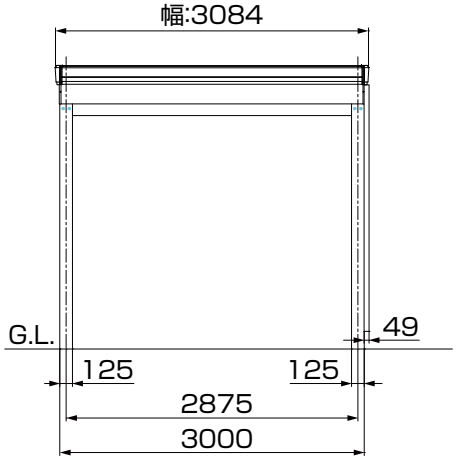



図2-1　幅30

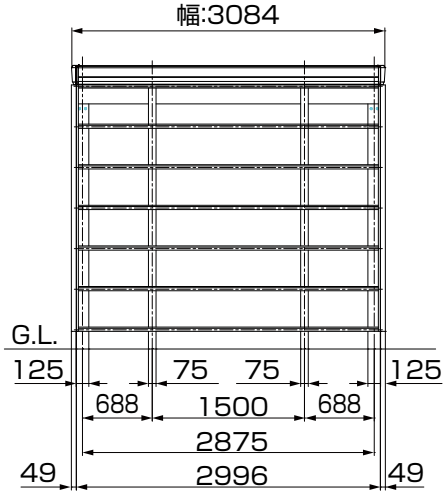



図2-4　3面囲いタイプ　幅30

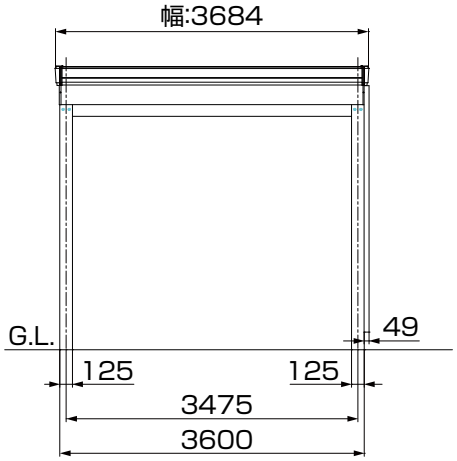



図2-2　幅36

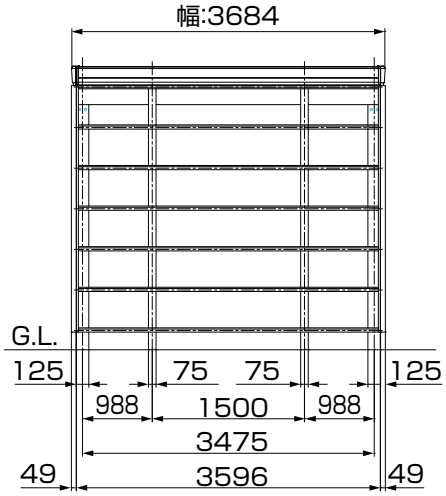



図2-5　3面囲いタイプ　幅36

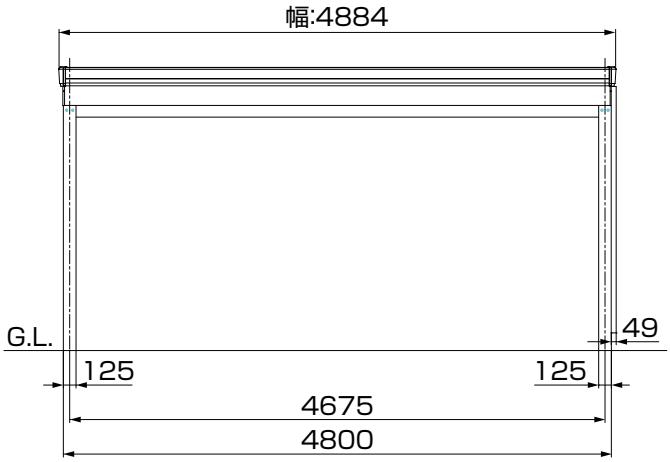



図2-3　幅48

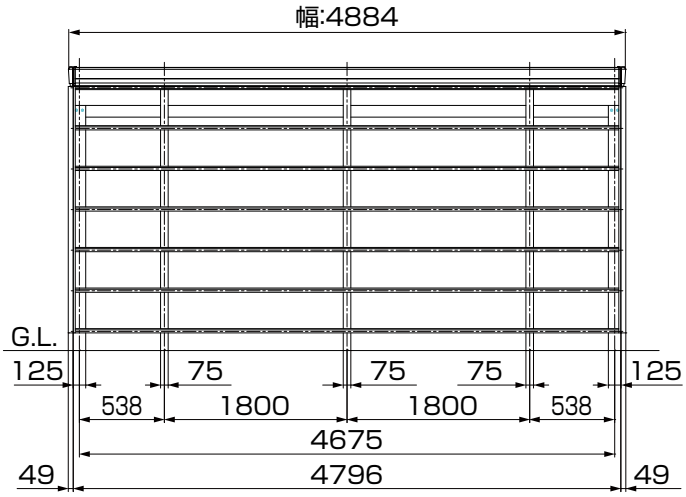



図2-6　3面囲いタイプ　幅48

# 2.（つづき）

## 2-1　つづき

### （1）側面取付けタイプ　後面図

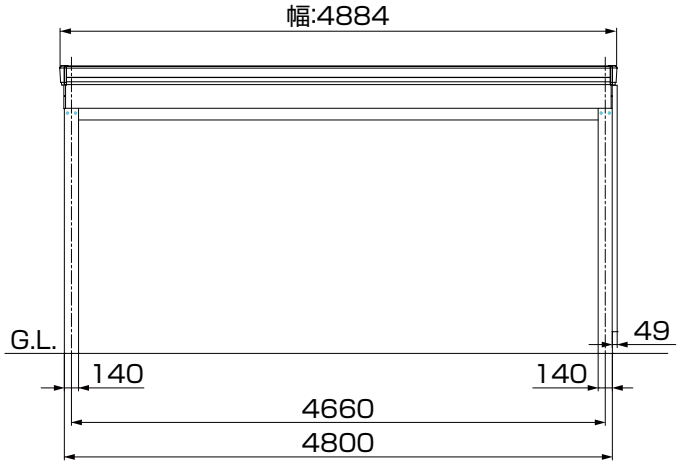



図2-7　幅48 梁260・280

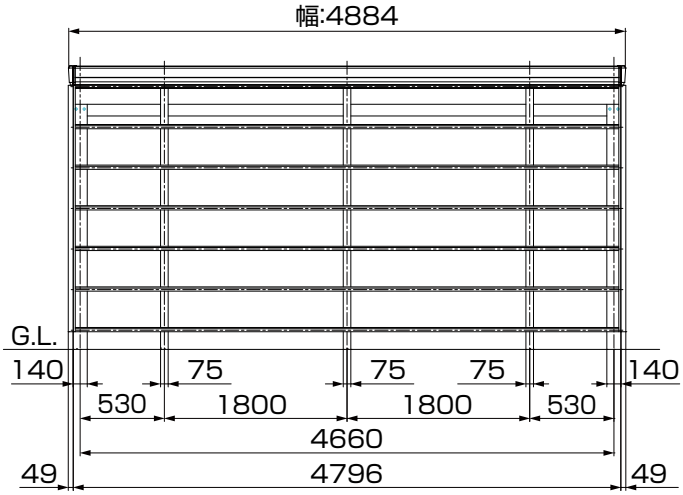



図2-10　3面囲いタイプ　幅48 梁260・280

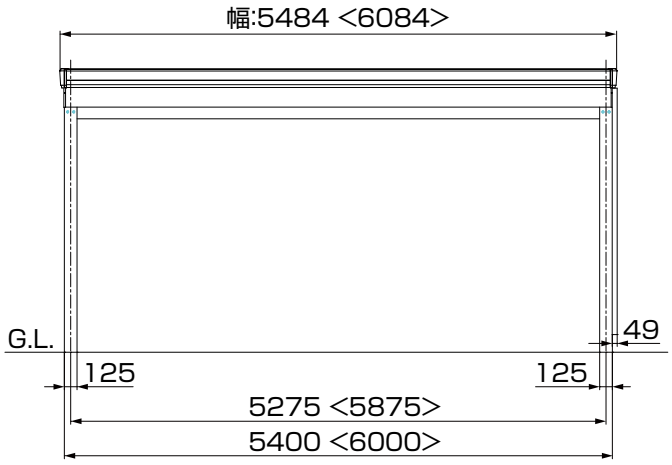



図2-8　幅55・60

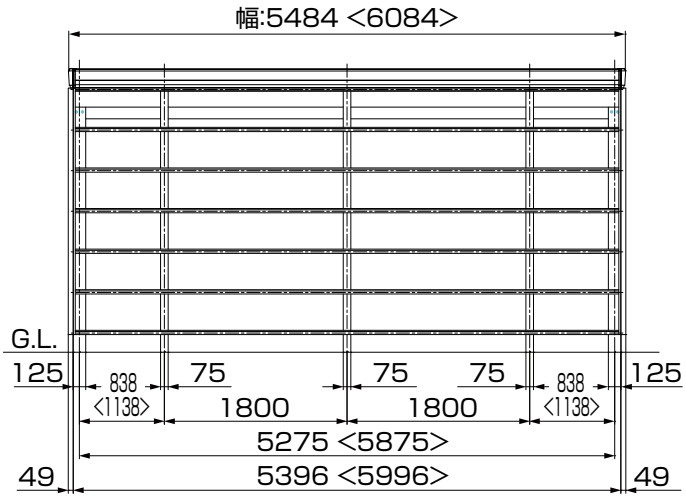



図2-11　3面囲いタイプ　幅55・60

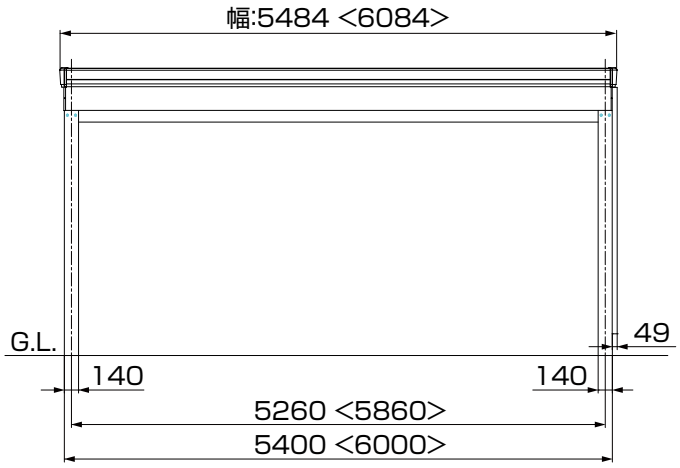



図2-9　幅55・60 梁260・280

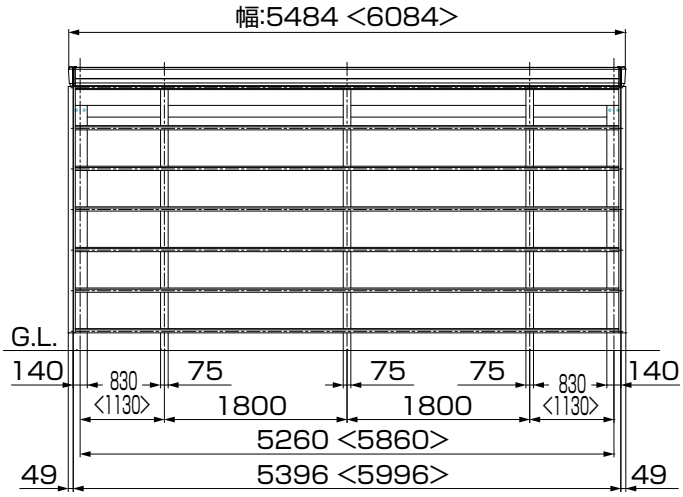



図2-12　3面囲いタイプ　幅55・60 梁260・280

## 2-1　つづき

### （2）側面取付けタイプ　側面図

※G.L.と下枠下端との寸法は、梁H寸法により異なります。
本図は、梁H240のときの寸法を示します。
梁H135は－105、梁H200は－40 低くなります。

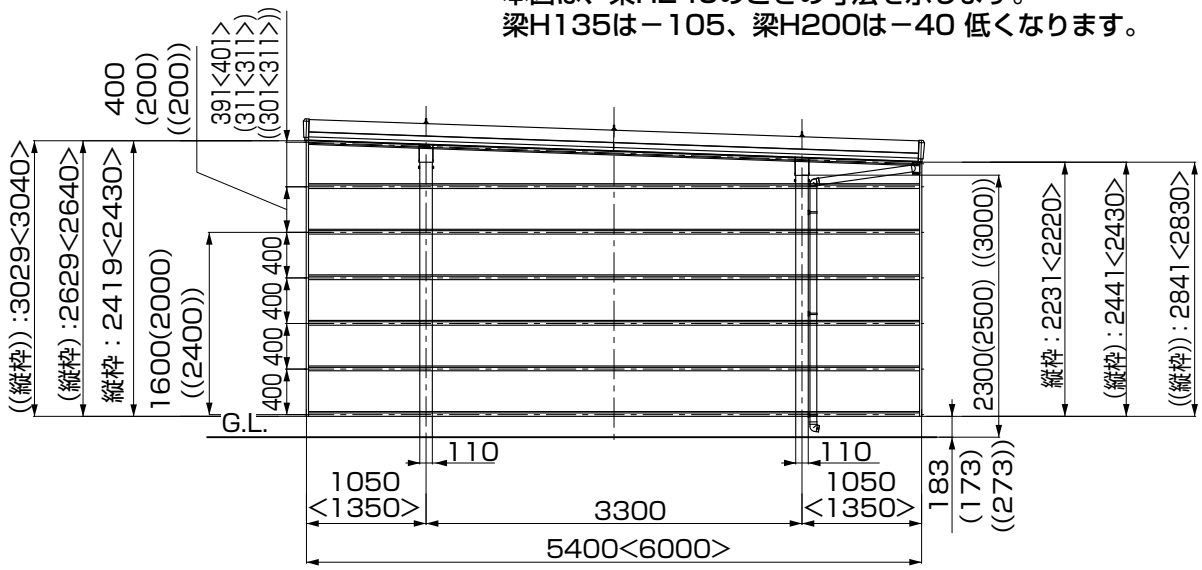



図2-7　4本柱

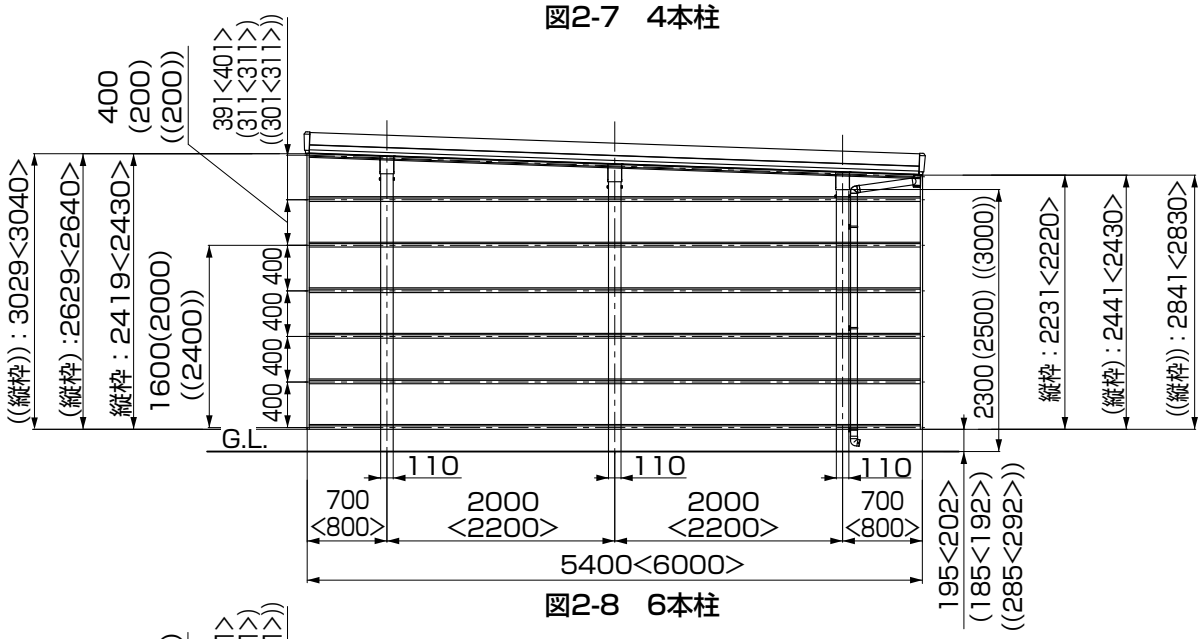



図2-8　6本柱

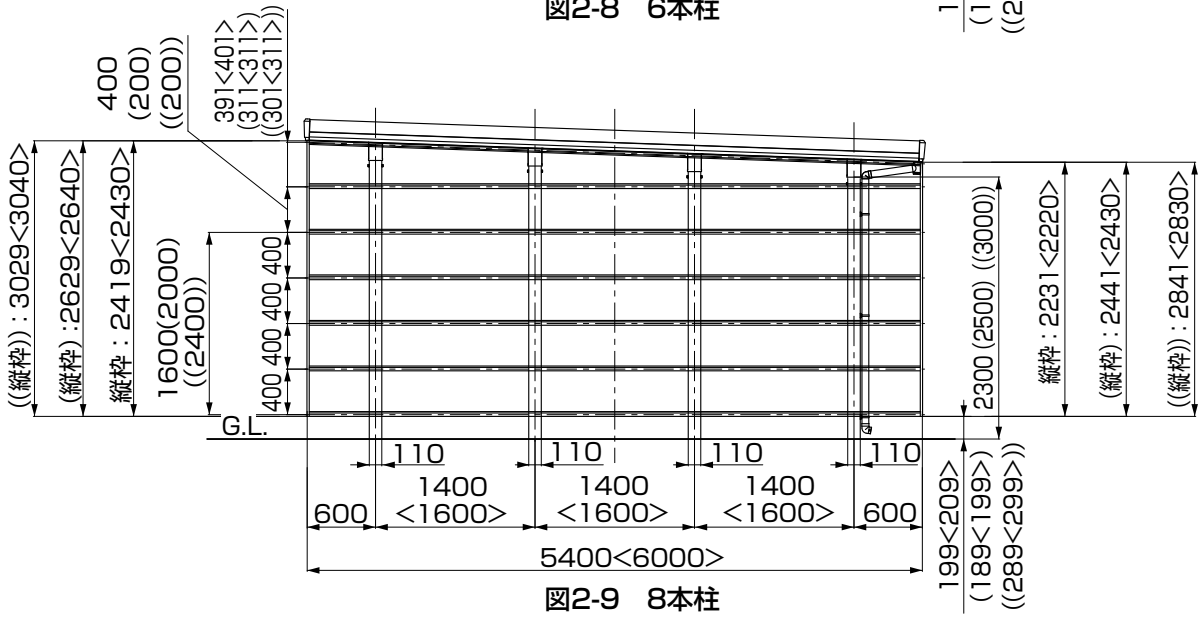



図2-9　8本柱

## 2-1　つづき

### （2）側面取付けタイプ　側面図

※G.L.と下枠下端との寸法は、梁H寸法により異なります。
本図は、梁H280のときの寸法を示します。
梁H260は－20低くなります。

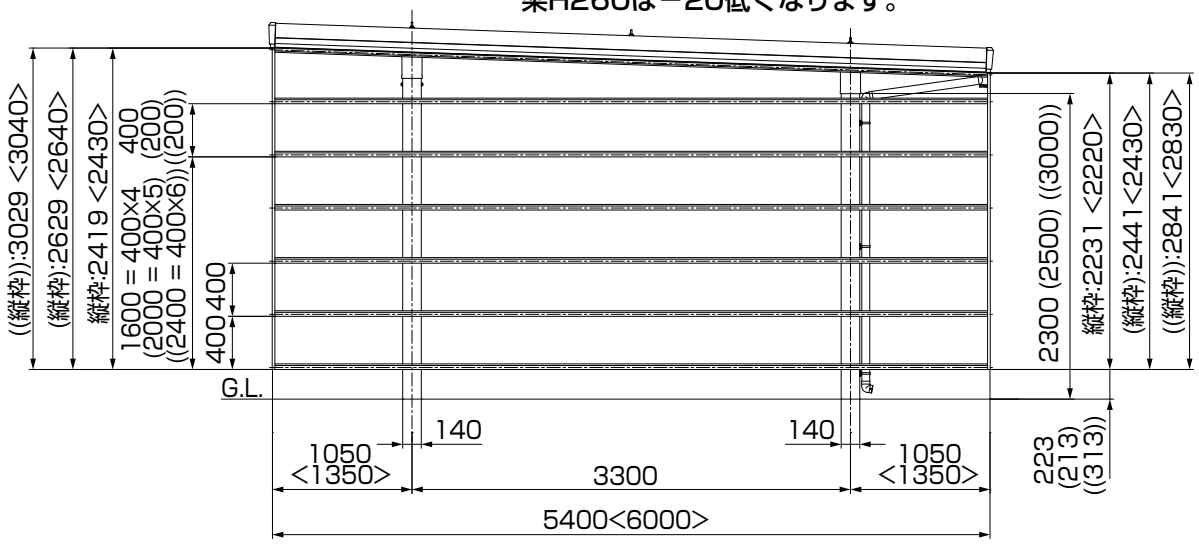



図2-10　4本柱

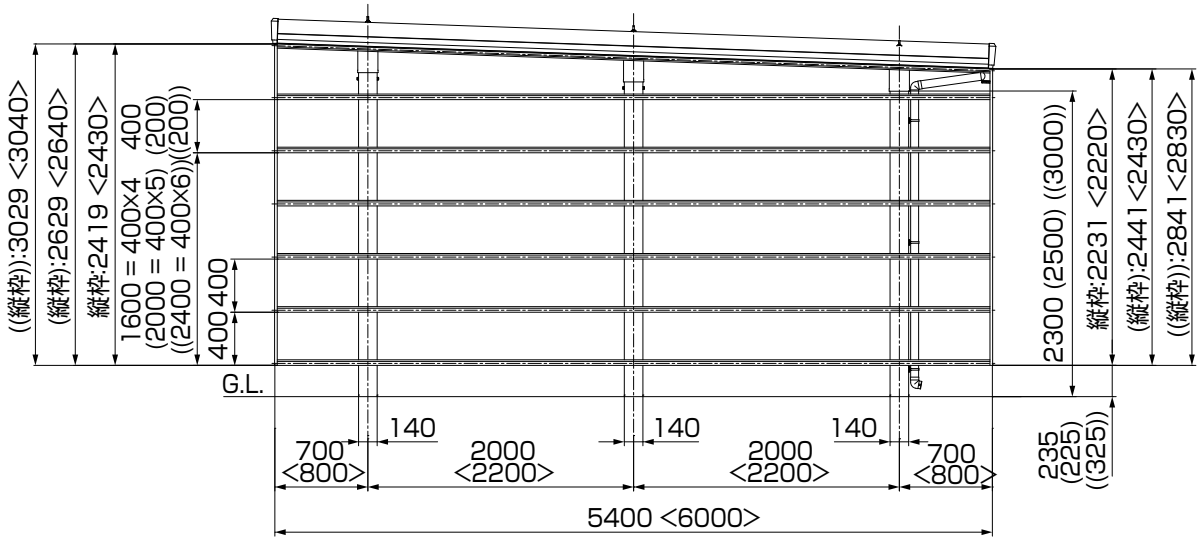



図2-11　6本柱

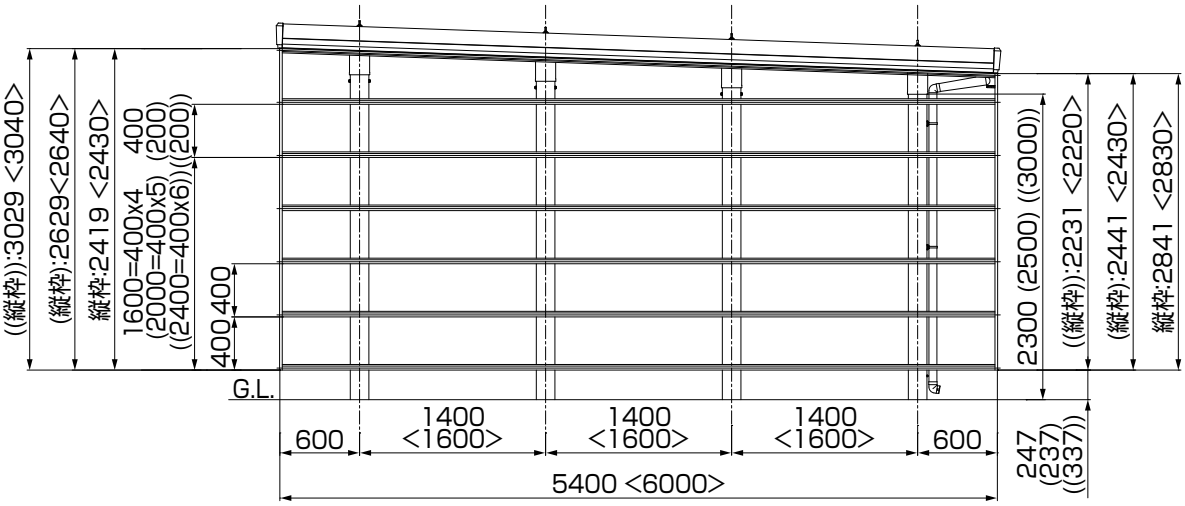



図2-12　8本柱

## 2-2 納まり図

### （1）側面取付けタイプ

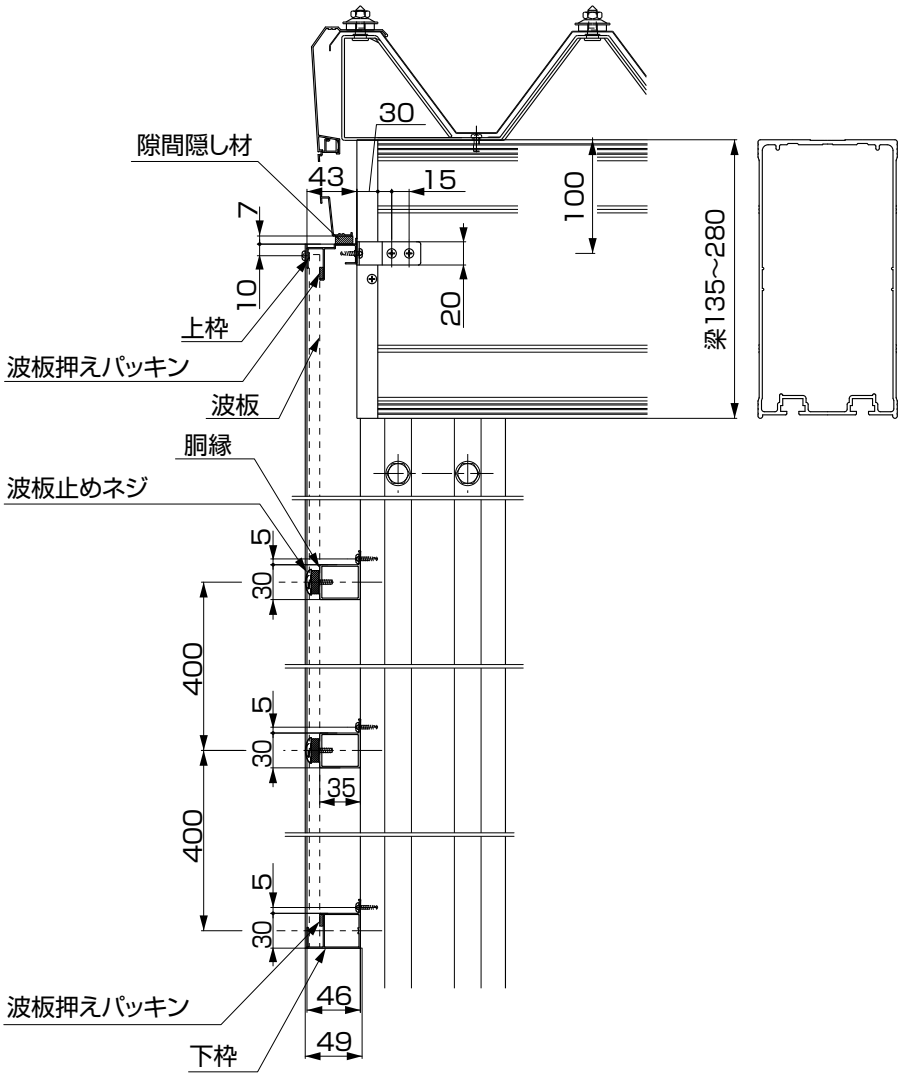
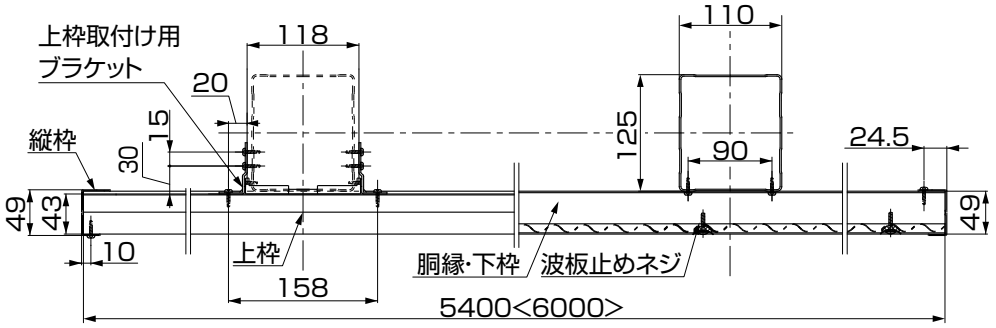


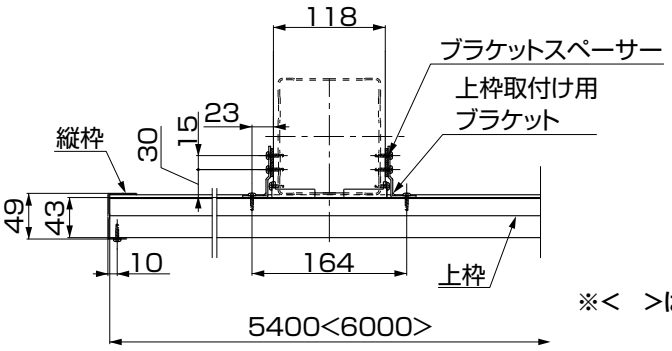

図2-13

## 2-2 つづき




※< >はL60寸法を示します。

図2-14　梁135、梁240の場合




※< >はL60寸法を示します。

図2-15　梁200の場合

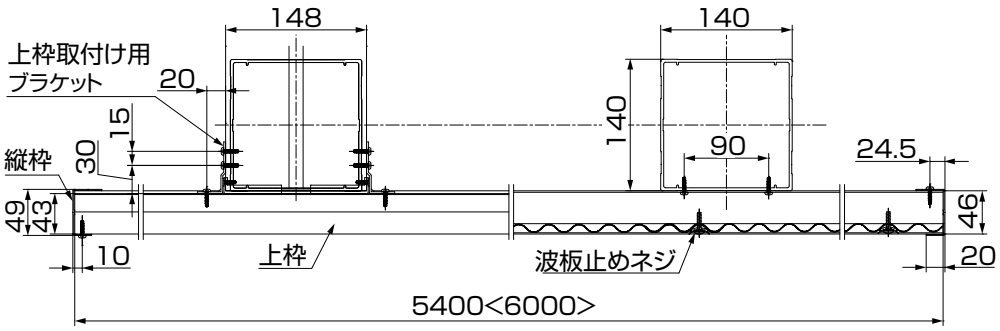



図2-16　梁260、梁280の場合

## 2-2 つづき

### （2）3面囲いタイプ

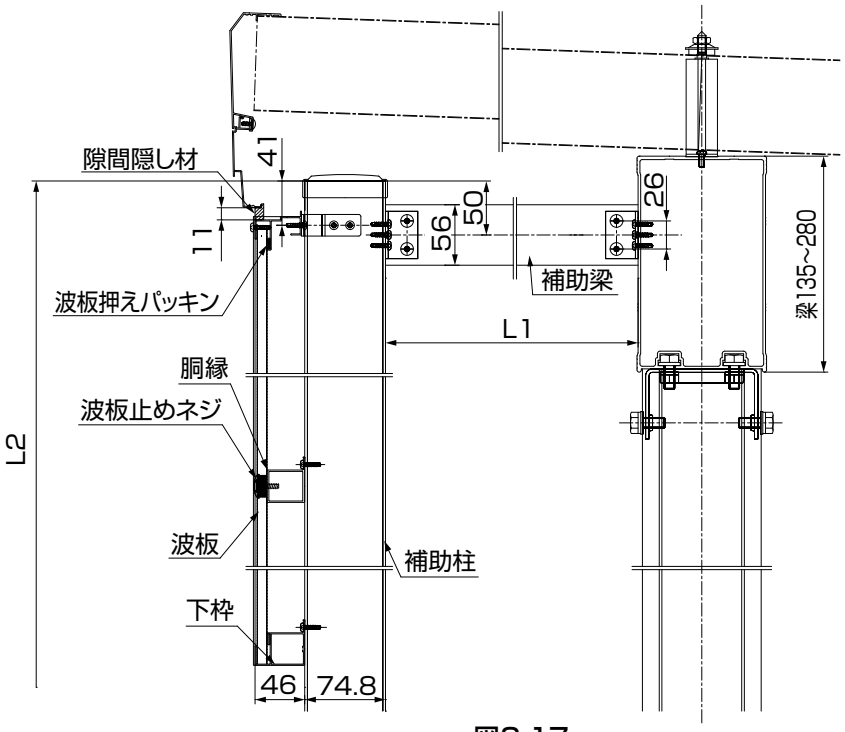
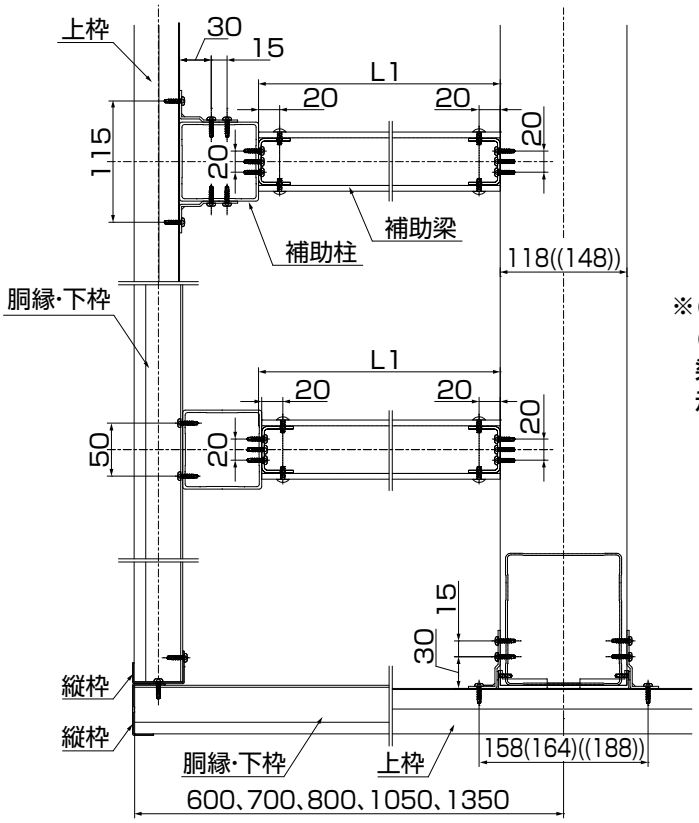



図2-17




※( )は梁200、
(( ))は梁260、
梁280の寸法を
示します。

図2-18

# 3. 部材の加工

## 3-1　下枠の加工　※側面・幅方向共に共通の加工になります。

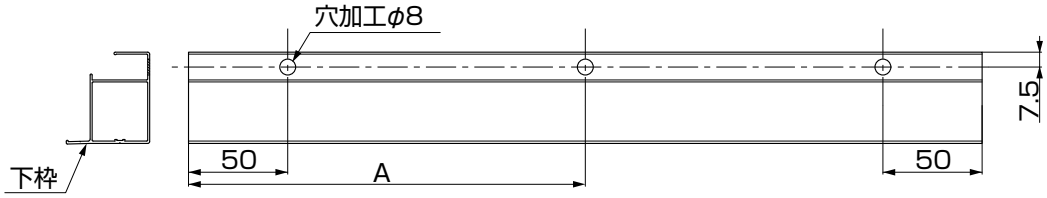



表3-1　（単位:mm）

| 仕様 | A |
|---|---|
| W30 | 1500 |
| W36 | 1800 |
| W48 | 2400 |
| L·W55 | 2700 |
| L·W60 | 3000 |
| L12延長 | 600 |

①下枠に3箇所水抜き穴をあけてください。

## 3-2　横部材（下枠・胴縁）の加工

### （1）側面方向取付けの場合

**お願い**

●正面（水下側）からみて右側に取付けるときの加工です。左側に取付けるときは左右対象に加工してください。

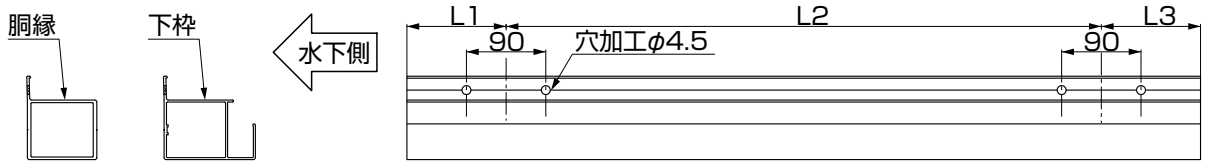



図3-1　4本柱

図3-2　6本柱

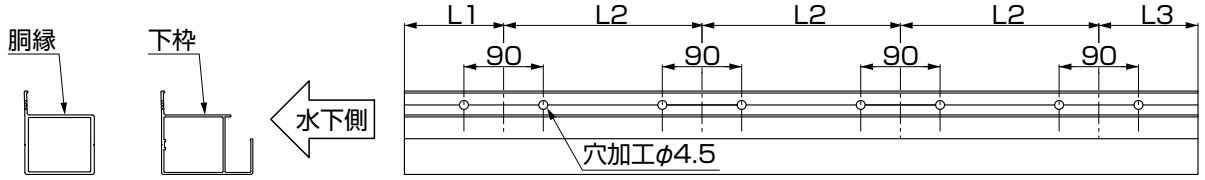



図3-3　8本柱

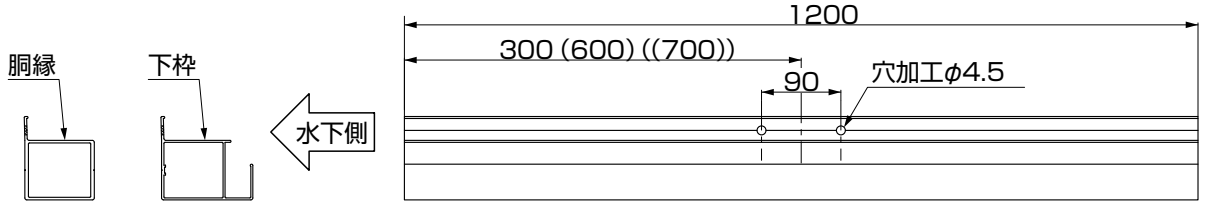



図3-4　12延長　※4本柱時の寸法、(　) は6本柱、((　)) は8本柱の寸法

表3-2　穴加工位置　（単位：mm）

| 仕様 | 4本柱 | | | 6本柱 | | | 8本柱 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | L1 | L2 | L3 | L1 | L2 | L3 | L1 | L2 | L3 |
| L55単体 | 1050 | 3300 | 1050 | 700 | 2000 | 700 | 600 | 1400 | 600 |
| L55+12延長 | 900 | 2400 | 2100 | 600 | 1800 | 1200 | 500 | 1400 | 700 |
| L55縦連棟（水上側） | 1450 | 2900 | 1050 | 950 | 1900 | 650 | 700 | 1400 | 500 |
| L55縦連棟（水下側） | 1050 | 2900 | 1450 | 650 | 1900 | 950 | 500 | 1400 | 700 |
| L60単体 | 1350 | 3300 | 1350 | 800 | 2200 | 800 | 600 | 1600 | 600 |
| L60+12延長 | 1000 | 2600 | 2400 | 750 | 1900 | 1450 | 600 | 1500 | 900 |
| L60縦連棟（水上側） | 1500 | 3000 | 1500 | 1050 | 2100 | 750 | 800 | 1600 | 400 |
| L60縦連棟（水下側） | 1500 | 3000 | 1500 | 750 | 2100 | 1050 | 400 | 1600 | 800 |

①下枠、胴縁を加工してください。

# 3.（つづき）

## 3-2　つづき

### （2）幅方向取付けの場合

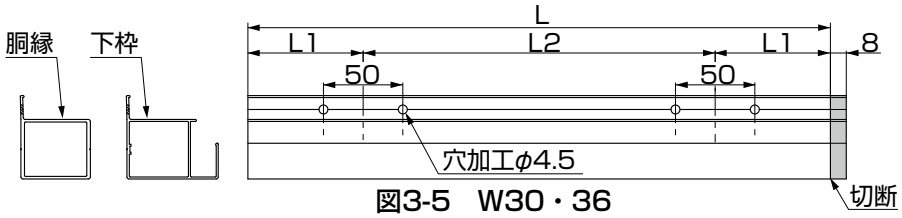



図3-5　W30・36

表3-3　（単位：mm）

| 仕様 | L | L1 | L2 |
|---|---|---|---|
| W30 | 2992 | 746 | 1500 |
| W36 | 3592 | 1046 | 1500 |

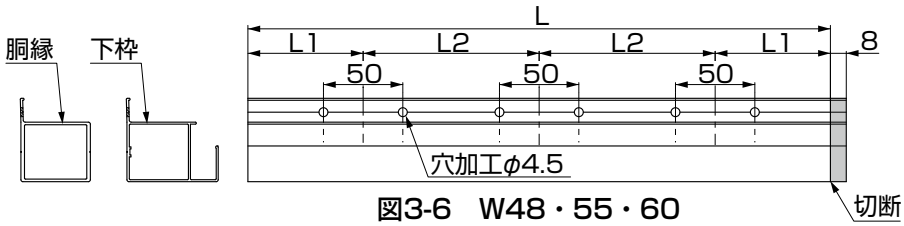



図3-6　W48・55・60

表3-4　（単位：mm）

| 仕様 | L | L1 | L2 |
|---|---|---|---|
| W48 | 4792 | 596 | 1800 |
| W55 | 5392 | 896 | 1800 |
| W60 | 5992 | 1196 | 1800 |

**お願い**

●幅方向（水上側）に取付けるときの加工です。
●片側の切断が必要です。

## 3-3　横部材（上枠）の加工

### （1）側面方向取付けの場合

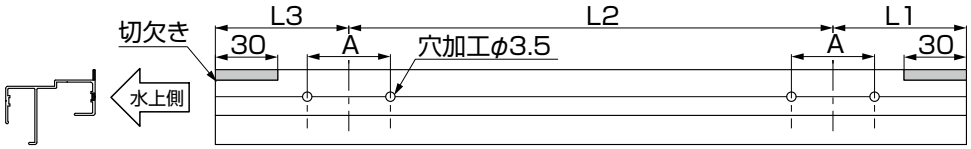



図3-7　4本柱

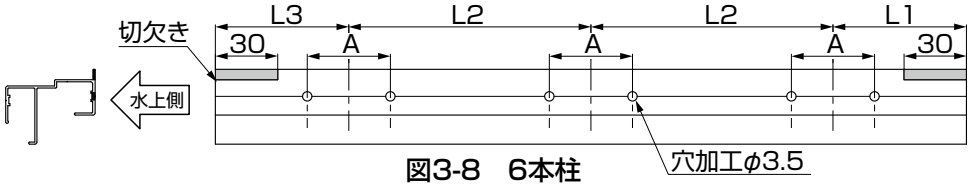



図3-8　6本柱

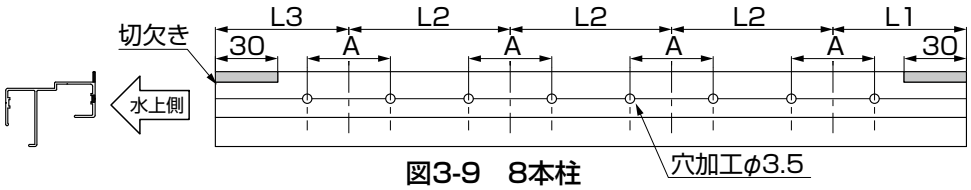



図3-9　8本柱

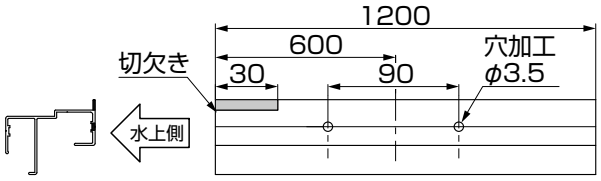



図3-10　12延長

表3-5　（単位：mm）

| 仕様 | A |
|---|---|
| 梁135 | 158 |
| 梁200 | 164 |
| 梁240 | 158 |
| 梁260 | 188 |
| 梁280 | 188 |

①上枠を加工してください。

**お願い**

●正面（水下側）からみて右側に取付けるときの加工です。左側に取付けるときは左右対象に加工してください。
●縦連棟・12延長の場合は、連結側の30mmの切欠きは不要です。
●穴加工位置は 3.部材の加工 3-2 横部材（下枠・胴縁）の加工 表3-1を参照してください。

## （2）幅方向取付けの場合

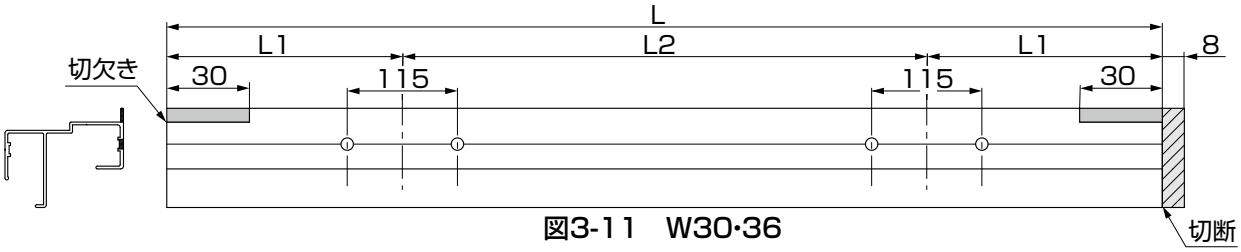



図3-11　W30･36

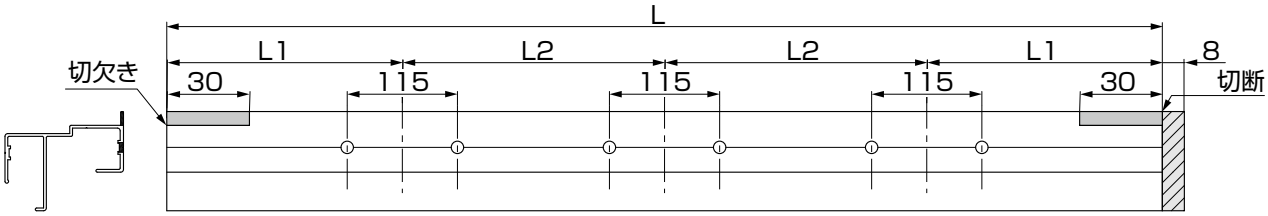



図3-12　W48･55･60

表3-6　（単位：mm）

| 仕様 | L | L1 | L2 |
|---|---|---|---|
| W30 | 2992 | 746 | 1500 |
| W36 | 3592 | 1046 | 1500 |

| 仕様 | L | L1 | L2 |
|---|---|---|---|
| W48 | 4792 | 596 | 1800 |
| W55 | 5392 | 896 | 1800 |
| W60 | 5992 | 1196 | 1800 |

①上枠を加工してください。

**お願い**

●幅方向（水上側）に取付けるときの加工です。
●片側の切断が必要です。

## 3-4　縦枠の加工

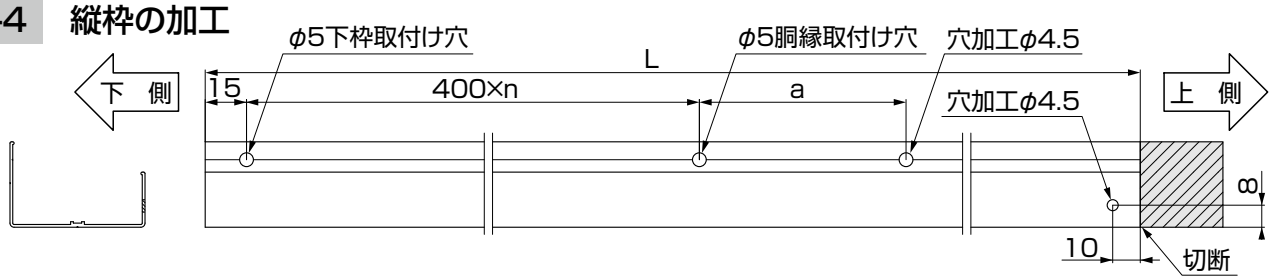



表3-7　（単位：mm）

| 仕様 | 奥行き | 標準 | ロング25 | ロング30 |
|---|---|---|---|---|
| L（水下） | 55用 | 2231 | 2441 | 2841 |
| | 60用 | 2220 | 2430 | 2830 |
| L（水上） | 55用 | 2419 | 2629 | 3029 |
| | 60用 | 2430 | 2640 | 3040 |
| L（12延長水下） | 55用 | 2231 | 2441 | 2799 |
| | 60用 | 2220 | 2430 | 2788 |
| L（奥行12延長連結部） | 55用 | 2419 | 2629 | 2987 |
| | 60用 | 2430 | 2640 | 2998 |
| L（12延長水上） | 55用 | 2461 | 2671 | 3029 |
| | 60用 | 2472 | 2682 | 3040 |

| 仕様 | 奥行き | 標準 | ロング25 | ロング30 |
|---|---|---|---|---|
| L（縦連棟水下） | 55用 | 2231 | 2441 | 2841 |
| | 60用 | 2220 | 2430 | 2830 |
| L（縦連棟連結部） | 55用 | 2325 | 2535 | 2935 |
| | 60用 | | | |
| L（縦連棟水上） | 55用 | 2419 | 2629 | 3029 |
| | 60用 | 2430 | 2640 | 3040 |
| a（単体･間口18延長･横連棟） | | 400 | 200 | |
| a（奥行12延長） | | 350 | 150 | |
| a（縦連棟） | | 350 | 200 | |
| n | | 4 | 5 | 6 |

**お願い**

●スクリーン正面からみて右側縦枠の加工です。左側縦枠は左右逆に加工してください。
●幅方向の縦枠は側面水上側と同じです。
●片側の切断が必要です。
●胴縁・下枠取付け穴は6箇所あいています。ロング柱H25は2箇所、H30は3箇所穴加工の追加が必要です。
　最上段 胴縁の取付け穴をa寸法で追加加工してください。
●上枠取付け穴を加工してください。

# 4. 上枠取付け用ブラケットの取付け

## 4-1　ブラケットの取付け準備

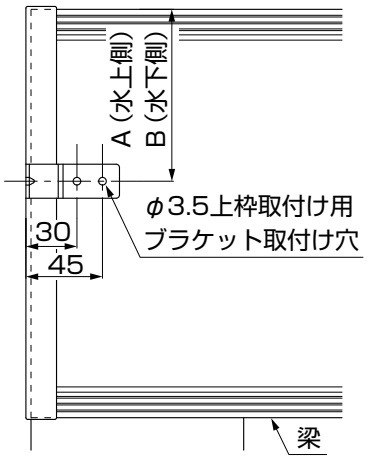



図4-1　側面方向の加工

**お願い**

●幅方向に取付ける場合には、補助柱・梁を先に組立ててください。
組立ての際は「補助柱・梁取付説明書」を参照してください。

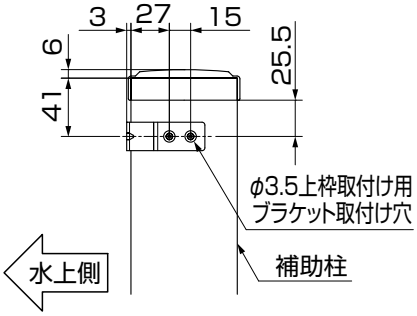



図4-2　幅方向の加工

表4-1

| 仕様 | A（水上側） | B（水下側） | C |
|---|---|---|---|
| 梁135 | 94（96） | 100（99） | 6（3） |
| 梁200 | | | |
| 梁240 | | | |
| 梁260 | 98（99） | 104（103） | 6（4） |
| 梁280 | | | |

※梁200にはブラケットスペーサーが必要です。
※（　）は、縦連棟時の寸法を示します。

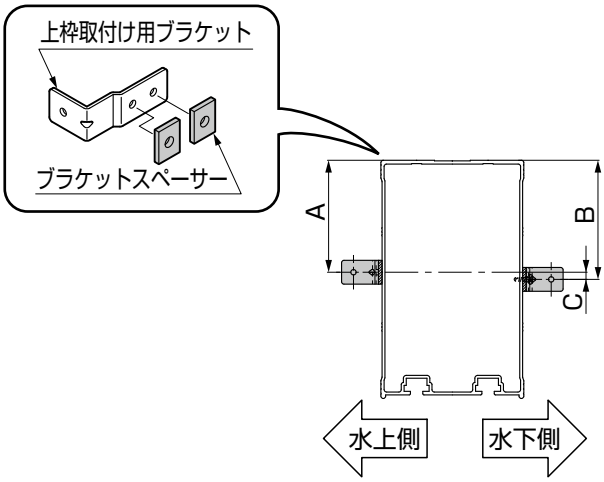



図4-3　梁135

図4-4　梁200

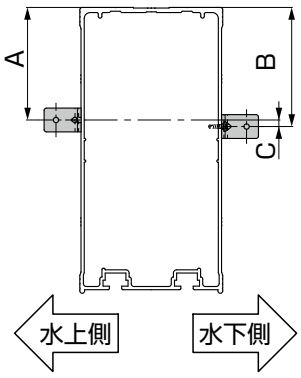



図4-5　梁240

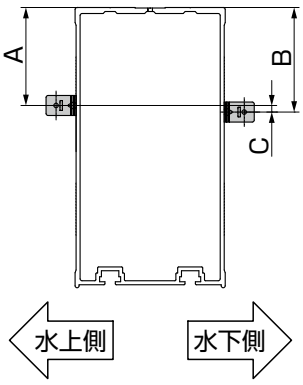



図4-6　梁260･280

①梁、または補助柱の側面にφ3.5の穴加工をしてください。

**お願い**

●上枠取付け用ブラケットの取付け位置は、梁の種類で異なります。
●梁200の場合は、ブラケットスペーサーの取付けが必要です。

# 4. （つづき）

## 4-2　ブラケットの取付け

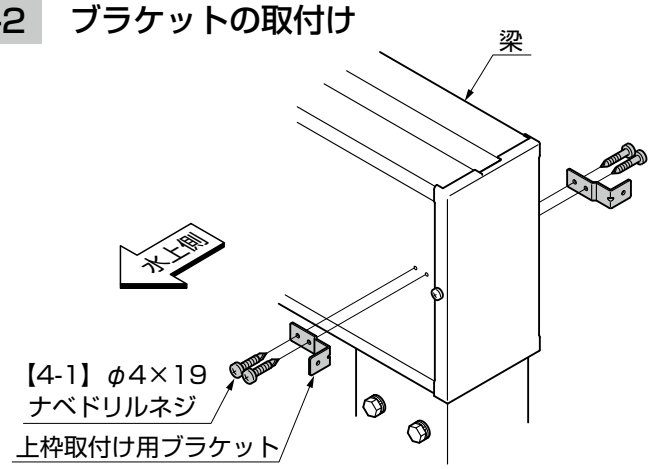



図4-7　側面方向の取付け

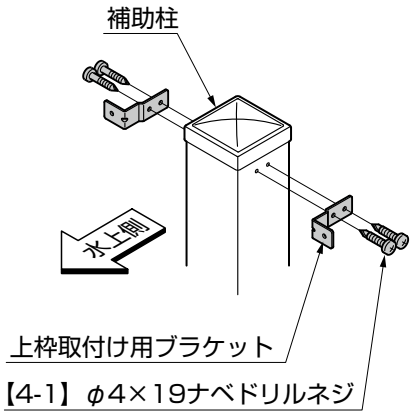



図4-8　幅方向の取付け

①上枠取付け用ブラケットを梁または補助柱に【4-1】で取付けてください。

# 5. 側面方向 上枠の取付け

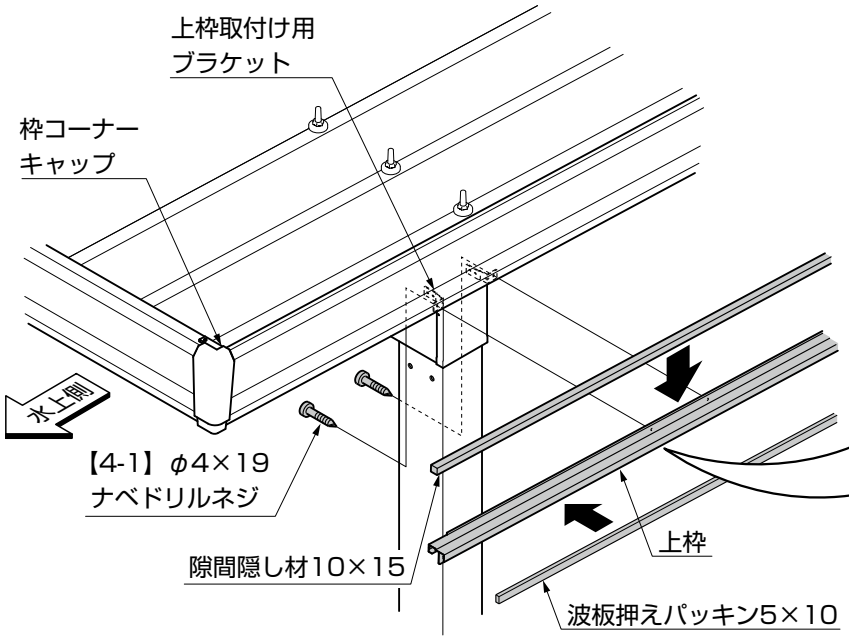



図5-1

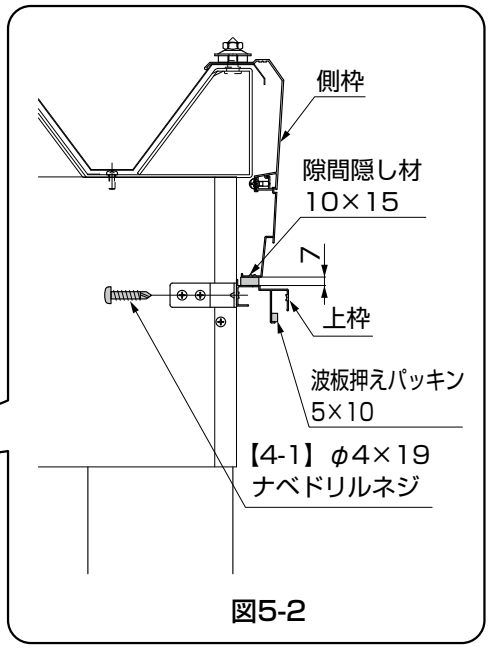



図5-2

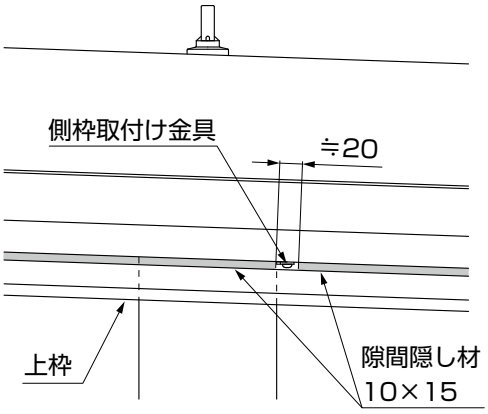



図5-3
隙間隠し材の取付け（側枠取付け金具位置）

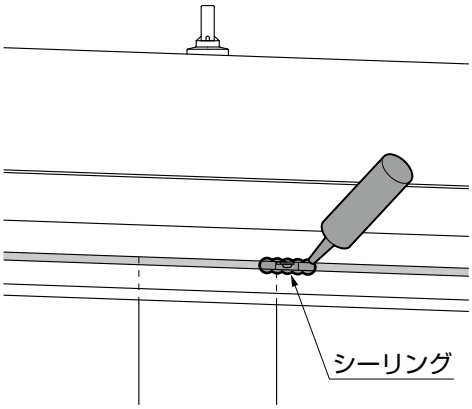



図5-4　シーリング

①隙間隠し材10×15と波板押えパッキン5×10を上枠に取付けてください。（図5-1参照）

**お願い**

●側枠取付け金具の位置では、隙間隠し材とのすき間を20mmあけます。20mmのすき間ができるように隙間隠し材を切断してください。（図5-3参照）

②上枠をカーポート本体の枠コーナーキャップの下端に合わせて上枠取付け用ブラケットに【4-1】で取付けてください。（図5-1参照）

**お願い**

●上枠と側枠のすき間は7mmあきます。（図5-2参照）

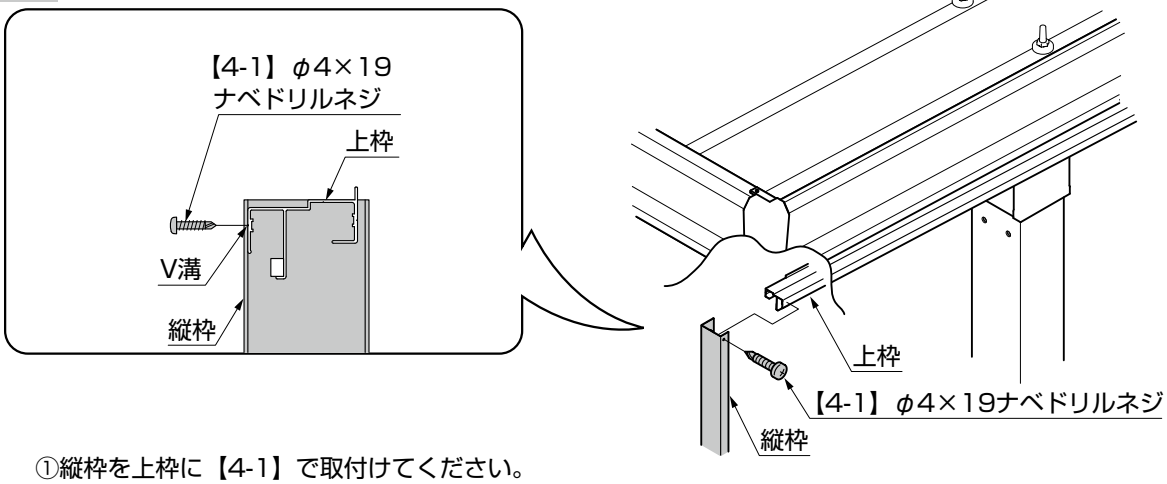
③側枠取付け金具と隙間隠し材のすき間に、シーリングしてください。（図5-4参照）

**お願い**

●指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

# 6. 縦枠の取付け

## 6-1　側面取付けタイプの場合




①縦枠を上枠に【4-1】で取付けてください。

## 6-2　3面囲いタイプの場合

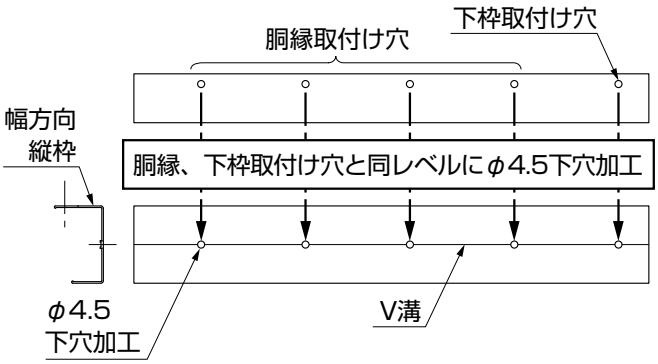



図6-1

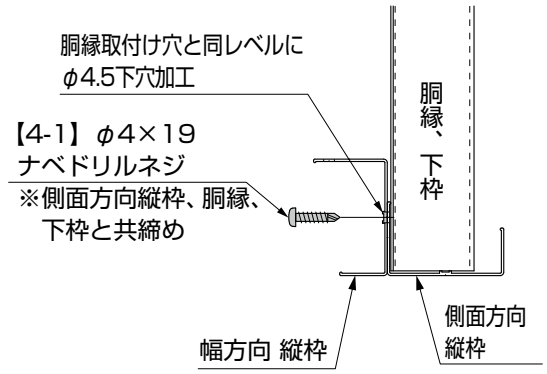



図6-3　平面図

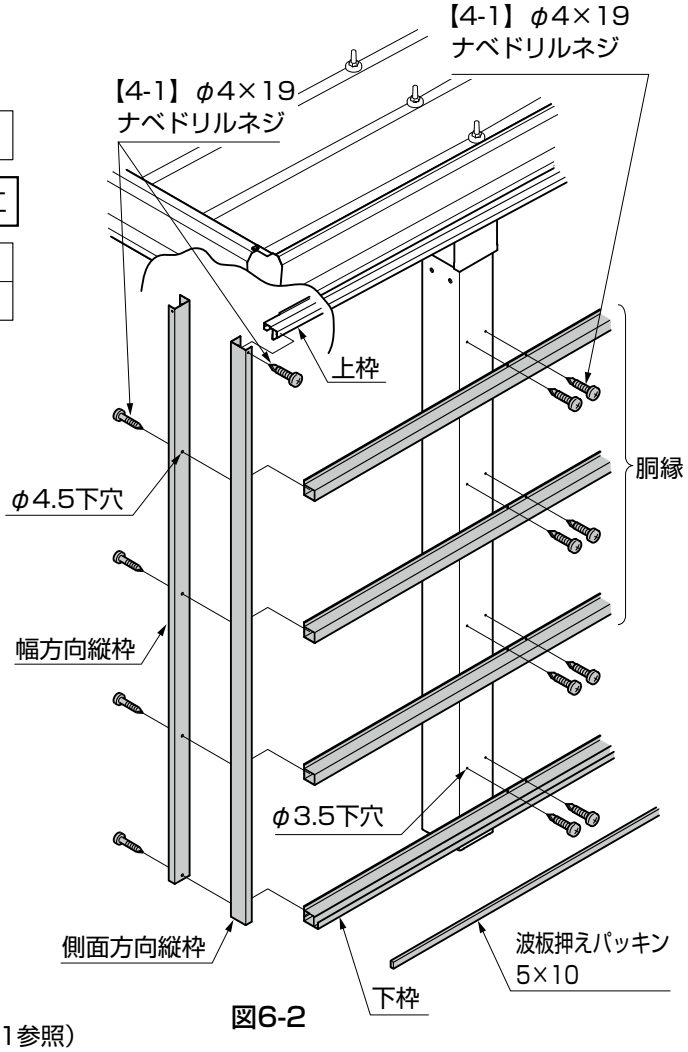



図6-2

①幅方向縦枠にφ4.5の下穴をあけてください。（図6-1参照）
②側面方向縦枠を上枠に【4-1】で取付けてください。
③側面方向下枠に波板押えパッキン5×10を貼付けてください。
④側面方向胴縁、下枠を柱にφ3.5の下穴をあけ【4-1】で取付けてください。
⑤幅方向縦枠を側面方向縦枠、胴縁、下枠に【4-1】で取付けてください。

**お願い**

●幅方向縦枠は側面方向縦枠、胴縁、下枠と共締めしてください。（図6-3参照）

# 7. 幅方向 上枠の取付け

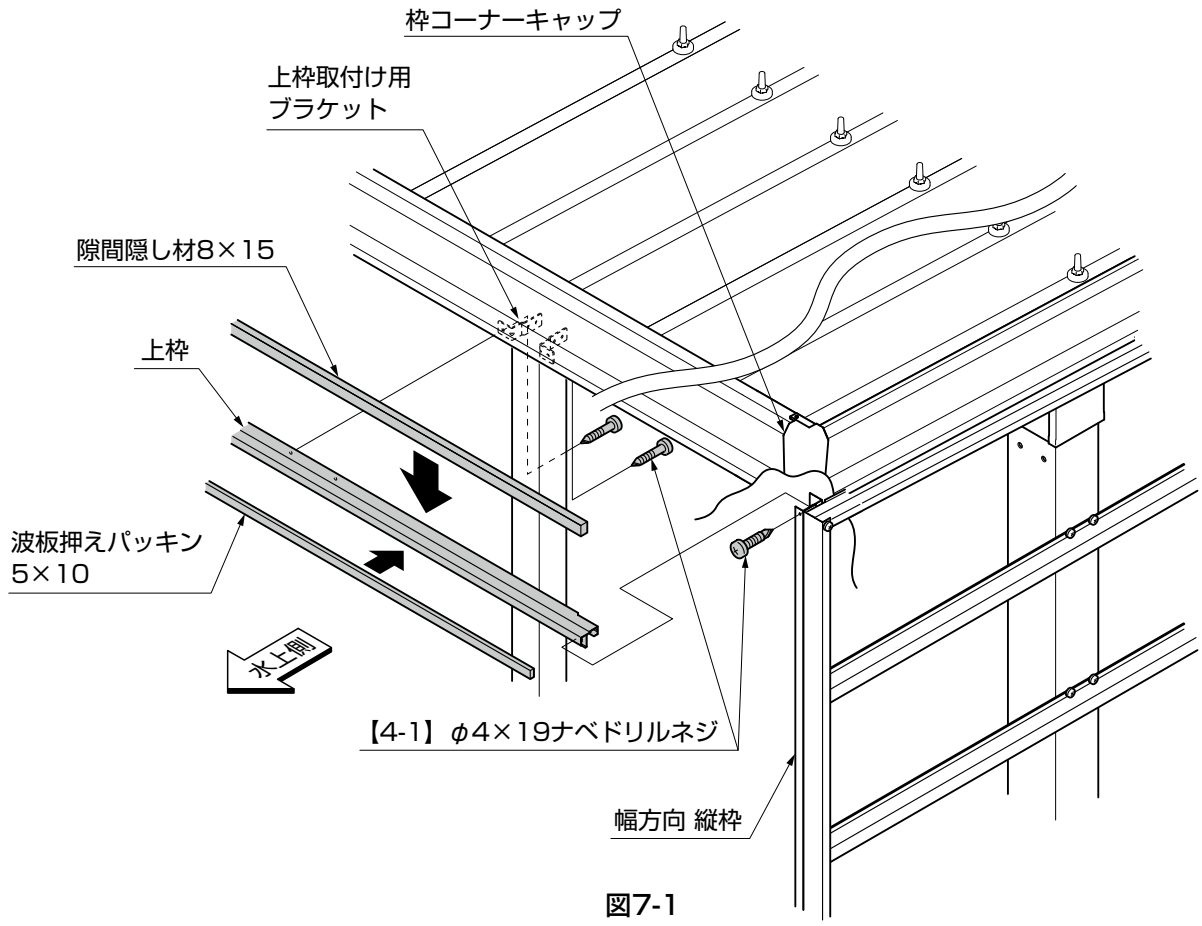



図7-1

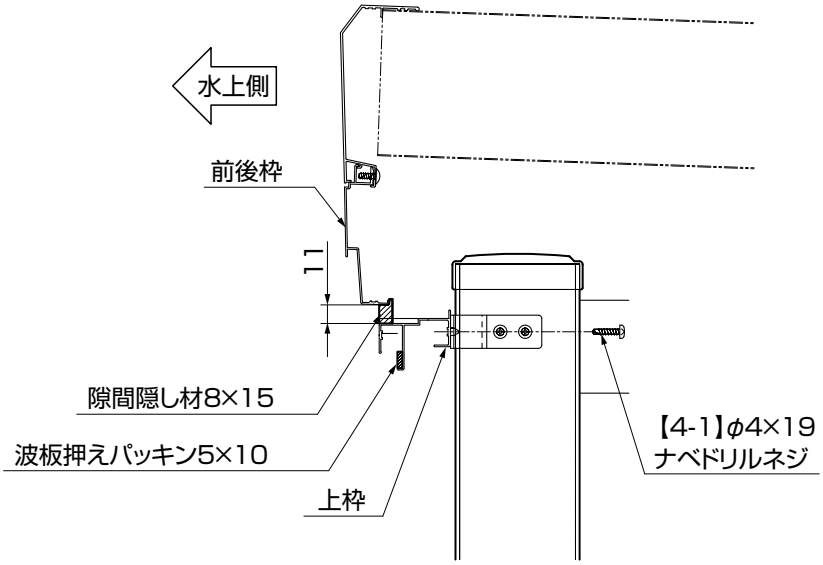



図7-2

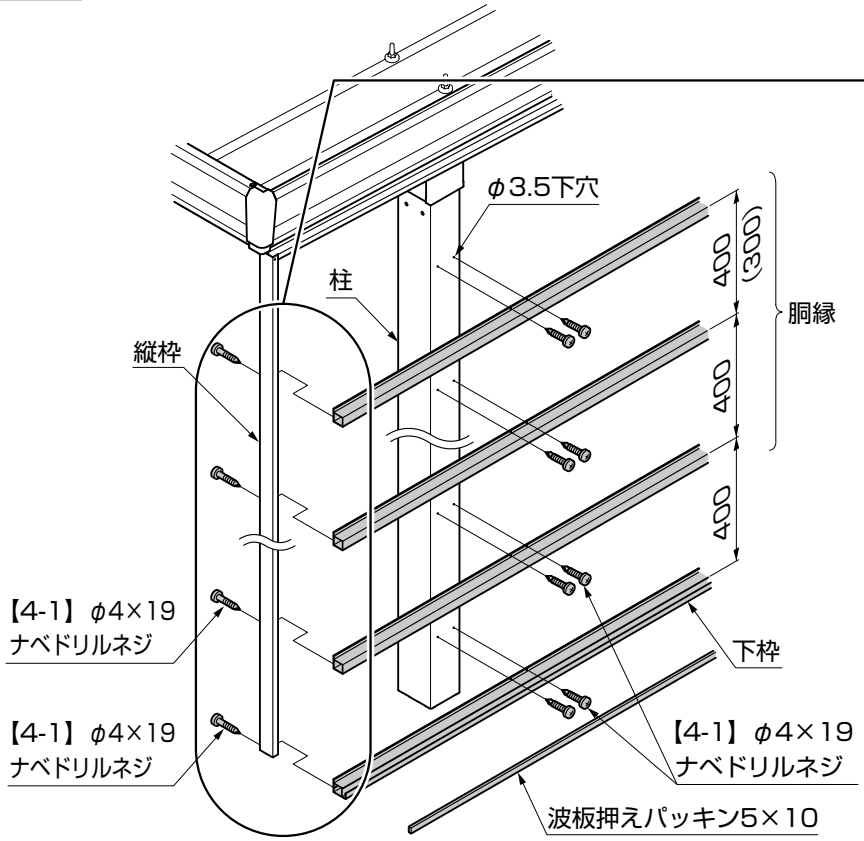
①隙間隠し材8×15と波板押えパッキン5×10を上枠に取付けてください。
②上枠をカーポート本体の枠コーナーキャップの下端に合わせて、上枠取付け用ブラケットと幅方向縦枠に【4-1】取付けてください。

**お願い**

●上枠と前後枠のすき間は11mmあきます。（図7-2参照）

# 8. 胴縁、下枠の取付け

## 8-1　側面取付けタイプの場合



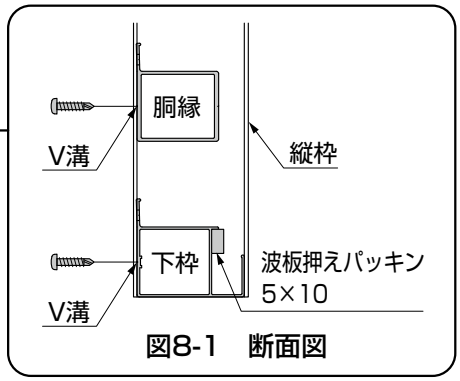




図8-1　断面図

①柱にφ3.5の下穴をあけてください。

**お願い**

●胴縁のピッチおよびG.L.と下枠下端との寸法は、P.4側面図で確認してください。

②下枠に波板押えパッキン5×10を貼付けてください。

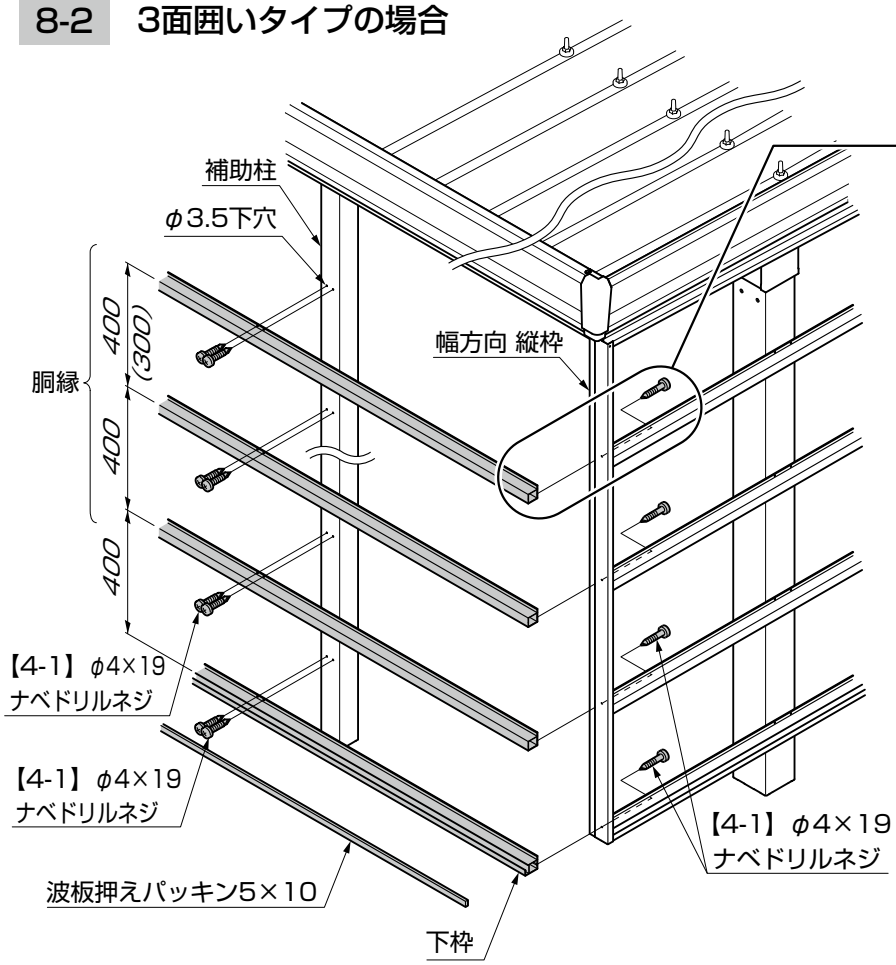
③胴縁、下枠を縦枠、柱に【4-1】で取付けてください。

**お願い**

●屋根の枠と上枠の隙間が一定（7mm）になるように下枠を柱に固定してください。

●下枠の柱への取付けは、水平になるように取付けてください。

## 8-2　3面囲いタイプの場合



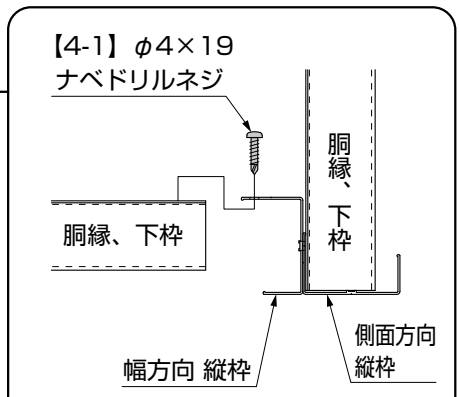




図8-2　平面図

①補助柱にφ3.5の下穴をあけてください。

②下枠に波板押えパッキン5×10を貼付けてください。

③胴縁、下枠を縦枠、補助柱に【4-1】で取付けてください。

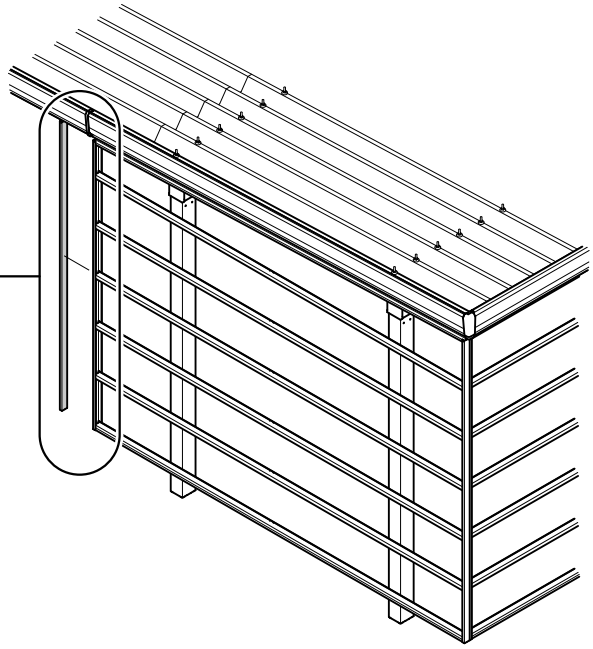
**お願い**

●屋根の枠と上枠の隙間が一定（7mm）になるように下枠を柱に固定してください。

●下枠の柱への取付けは、水平になるように取付けてください。

# 9. 連棟の場合の作業

※連棟する場合の作業です。
※図は縦連棟の場合を示します。



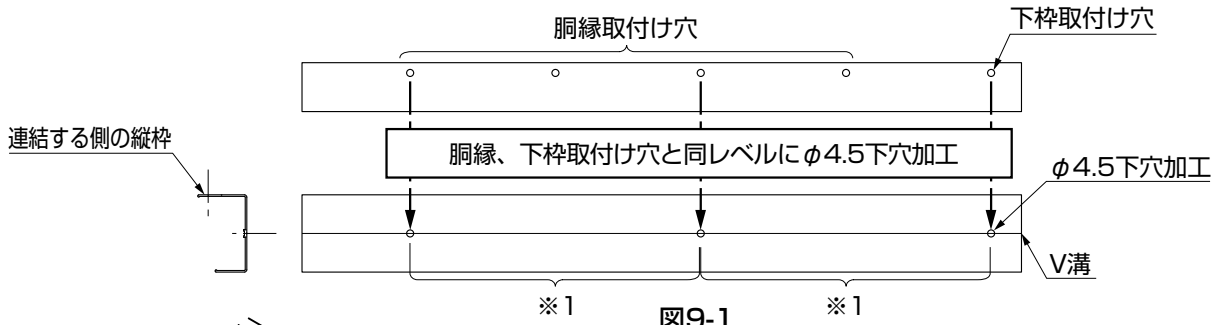



図9-1

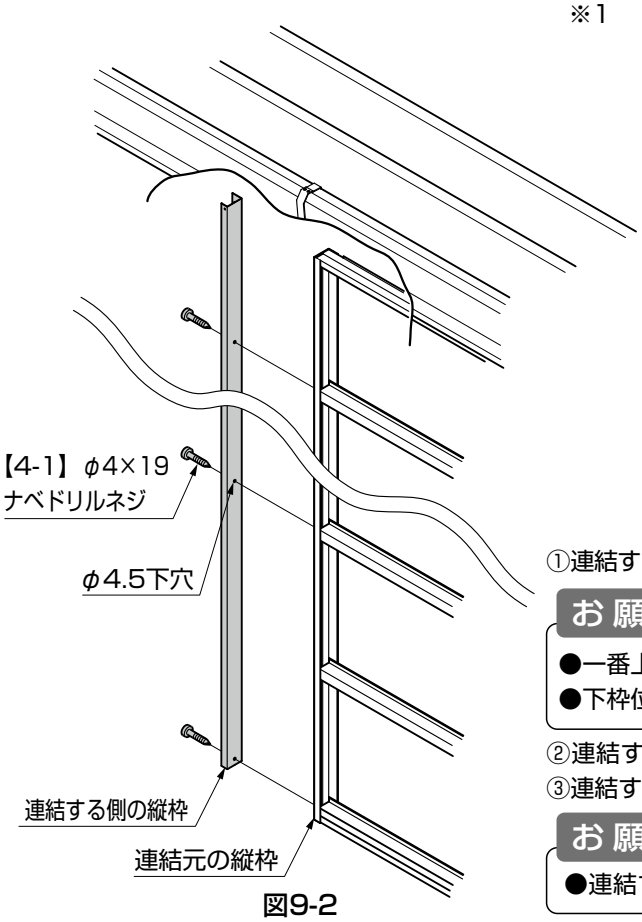



図9-2

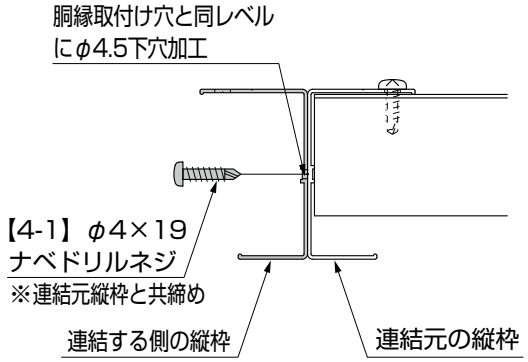



図9-3

①連結する側の縦枠にφ4.5の下穴をあけてください。（図9-1参照）

**お願い**

- ●一番上の胴縁と下枠は必ず固定してください。
- ●下枠位置から1本おきに下穴をあけてください。（※1）

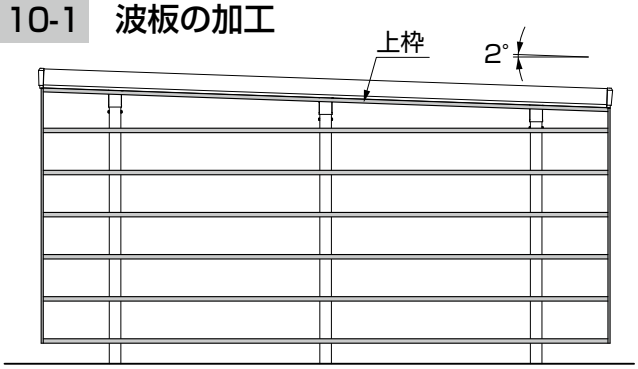
②連結する側の縦枠を連結元の縦枠に【4-1】で取付けてください。
③連結する上枠、胴縁、下枠は単体と同様に取付けてください。

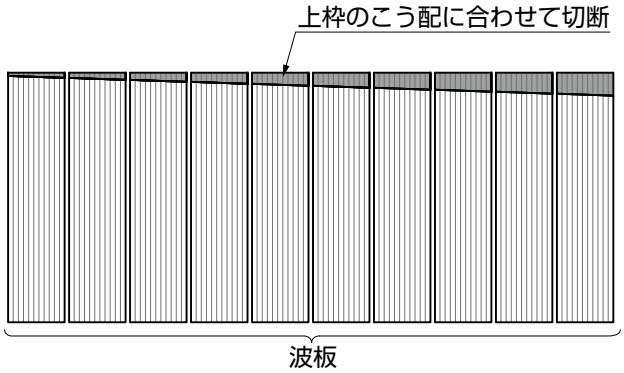
**お願い**

- ●連結するネジは、連結元の胴縁・下枠のホロー部で連結します。

# 10. 波板の取付け ※波板は現場で手配してください。

## 10-1 波板の加工



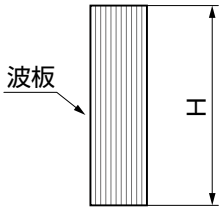




表10-1 波板の必要最低寸法

| 仕様 | H |
|---|---|
| 標準柱H23 | 2420 |
| ロング柱H25 | 2730 |
| ロング柱H30 | 3030 |
| 凍上ロング柱H25 | 2730 |

※L60の場合です。 (単位：mm)

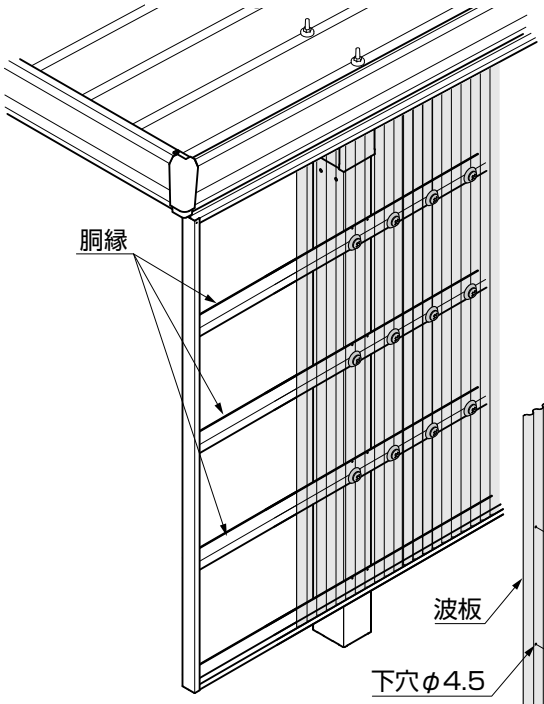
表10-2 波板枚数

| 呼称 | 枚数 |
|---|---|
| L･W55 | 10 |
| L･W60 | 11 |
| W30 | 6 |
| W36 | 7 |
| W48 | 9 |

※横幅が655mmの場合です。

①上枠に合わせて波板を切断してください。

## 10-2 波板の取付け



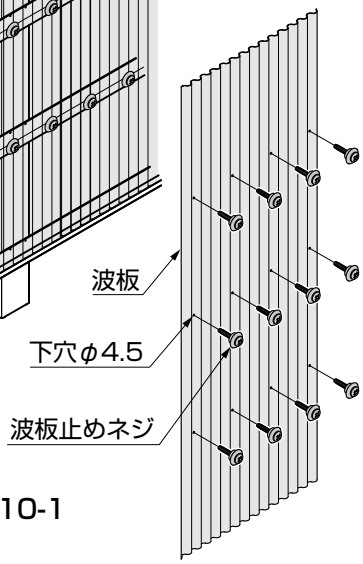




図10-1

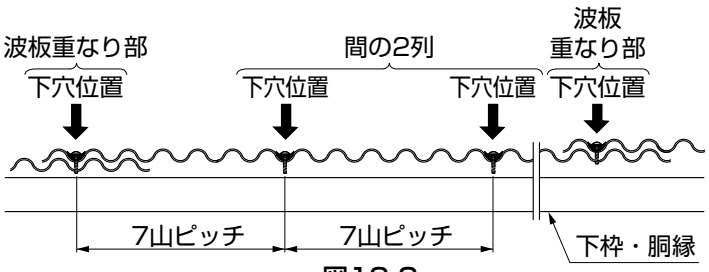



図10-2

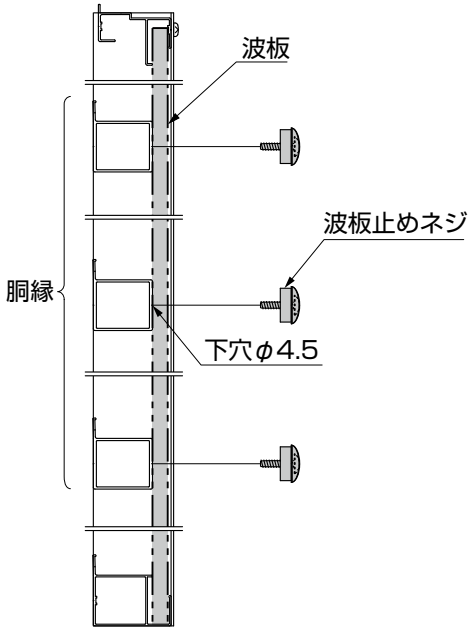



図10-3

①波板の重なっている部分に各一列、その間2列に胴縁のV溝に沿って波板の谷部にφ4.5の下穴をあけてください。
②波板を胴縁に波板止めネジで取付けてください。

取説コード

D536

JZZ622607E
201107A_1039
202608G_1100